

日本人の宗教的意識や行動は どう変わったか

～ISSP 国際比較調査「宗教」・日本の結果から～

世論調査部 小林利行

本レポートでは、NHK放送文化研究所が国際比較調査グループ（ISSP）の一員として、2018年10月から11月にかけて実施した「宗教」に関する調査の日本の結果について、過去の調査結果との時系列比較を中心に報告する。

結果を簡単にまとめると以下ようになる。①信仰している宗教の割合は変わらないものの、信仰心は薄くなり、神仏を拝む頻度は低くなっている。②日本人の伝統的な価値観だと捉えられてきた“お天道様が見ている”“人知を超えた力の存在”“自然に宿る神”といった感覚を持つ人は少なくなっている。③宗教に「癒やし」などの役割を期待する人は減少している。宗教に危険性を感じる人は、感じない人よりも多い。④宗教徒別では、「イスラム教徒」への否定感がほかの宗教徒に比べて高い。

日本ではこれまで、宗教について深く考えたことのなかった人も多いと思われる。しかし、改正出入国管理法の施行（2019年4月）によって、外国人材の受け入れが進む中で事情が変わる可能性がある。異なる宗教観を持った人たちとの付き合いが増えれば、今まで以上に「日本人と宗教」について考えなければならないケースが出てくるかもしれない。

1. はじめに

NHK放送文化研究所が参加している国際比較調査グループISSP（International Social Survey Programme）¹⁾では、世界約40の国や地域の研究機関が、毎年特定のテーマを選んで共通の質問文で調査を行っている。そして、時系列変化の把握のために、ほとんどの調査をある程度の期間を置いて繰り返し実施している。

2018年のテーマは「宗教」で、ISSPとしては4回目、日本がISSPに参加（1992年）してから1998年、2008年に続いて3回目の調査と

なる。各国の調査データが出そろって国際比較が可能になるのは数年後になるので、ここでは日本の結果のみを報告する。今回のデータは、過去20年間の日本人の宗教観の変化が分かる貴重なものとなっており、本レポートでも時系列変化を中心に紹介していく。

今回の日本調査の概要は次の通りである。

○調査時期：2018年10月27日～11月4日

○調査方法：配付回収法

○調査相手：全国18歳以上2,400人

○調査有効数（率）1,466人（61.1%）

過去の調査の概要と今回を含めた3回分の単純集計結果は64ページ以降に掲載している²⁾。

なお、本レポート内の「増加」「減少」などの表現は、信頼度95%の有意差検定の結果を根拠としている。また、1998年、2008年、2018年は、それぞれ98年、08年、18年と表記している。

2. 信仰している宗教と信仰心

(1) 宗教を信仰している人は36%

はじめに、信仰している宗教についてみていく。質問は「ふだん信仰している宗教がありますか」という文言で、選択肢として「仏教」「神道」「キリスト教」などを示しているが、但し書きとして「冠婚葬祭の時だけの宗教でなく、あくまで、あなたご自身が、ふだん信仰している宗教をお答えください」と加えている。

回答は、「仏教」と答えた人が31%、「神道」が3%、「キリスト教」が1%などとなった。何らかの宗教を信仰していると答えた人は合わせて36%だった一方、「信仰している宗教はない」は62%にのぼった(図1)。

08年の結果と比べて、各宗教も「信仰している宗教はない」も変化はなかった。

一番多い「仏教」について18年の結果を男女別にみると、男性34%、女性30%で差はない。男女年代別にみると、男女とも年齢が上がるほど信仰する人が多くなっていて、18～

図1 信仰している宗教(全体)

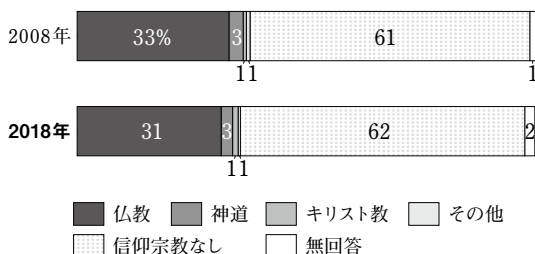
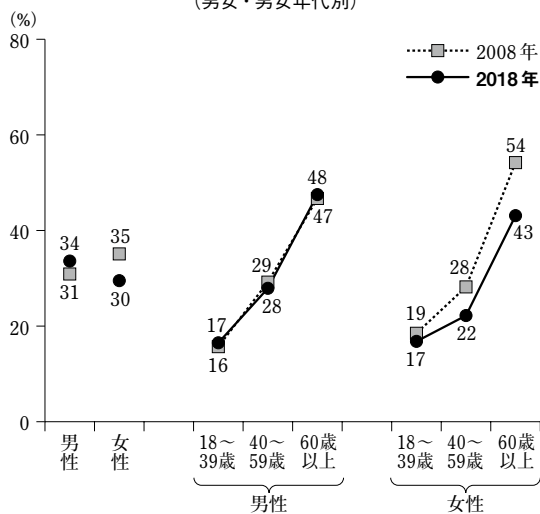


図2 信仰している宗教「仏教」
(男女・男女年代別)



39歳で17%、60歳以上で40%台となっている(図2)³⁾。

08年との比較でみると、前述したように全体としては変化がないものの、カテゴリ別では、「女性」で35%から30%に減少していて、「女性60歳以上」で54%から43%に減っている。女性の中の特に高齢層での減少傾向が、仏教信者のこの10年の変化の特徴と言えよう。

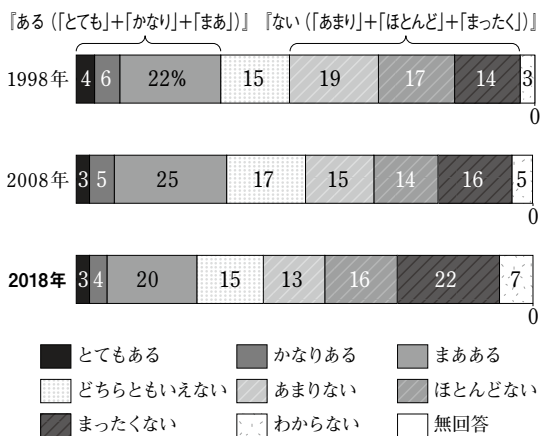
(2) 薄くなる信仰心

次に、信仰心について取り上げる。信仰心があるかどうかを尋ねたところ、18年で『ある(「とても」+「かなり」+「まあ」)』⁴⁾と答えた人は26%にとどまる一方、『ない(「あまり」+「ほとんど」+「まったく」)』は52%にのぼった(図3)。

98年との比較でみると、『ある』が32%から26%に減少している。『ない』は変化していないが、細かくみると「まったくない」が14%から22%に増加している。

また、「わからない」が3%から7%に増えていることにも留意したい。選択肢に「どちらと

図3 信仰心の有無(全体)



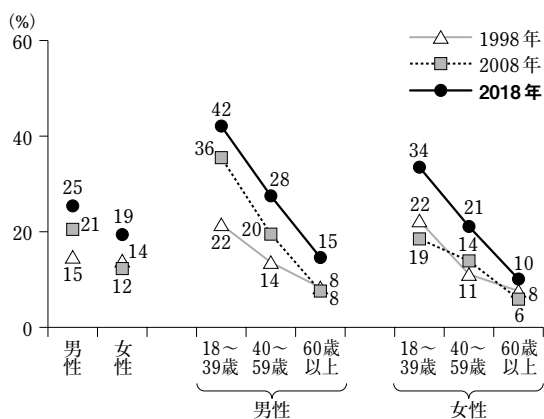
「まったくない」があるにもかかわらず「わからない」と回答する人が増加しているということは、そもそも信仰心について考えたこともないという人が増えていることを示しているのかもしれない。

「信仰している宗教」の質問で、何らかの宗教を信仰している人の割合は過去と比べて変わらないことをみてきたが、「信仰心」は全体として薄くなっていることが分かった。では、宗教を信仰している人の中での「信仰心」はどのように変化しているのだろうか。

何らかの宗教を信仰していると回答した人に限って「信仰心」についてみると、『ある』という人が65% (08年) から53% (18年) と減少している⁵⁾。つまり、宗教を信仰している人の中で信仰心を持つ人が減っていて、現在では約半数になっているということである。日本人にとって、宗教を信仰するということは何を意味するのかということを考えさせられる結果である。

増加幅の大きかった「まったくない」を男女年代別にみた(図4)。年代別で男女とも年齢が下がるほど「まったくない」が多く、特に男

図4 信仰心の有無「まったくない」(男女・男女年代別)



性18~39歳では42%にのぼっている。98年と比べると、女性60歳以上を除くすべてのカテゴリーで増加していて、男性18~39歳では22%から42%と大幅な増加となっている。若年層の特に男性で「信仰心がまったくない人」の増加が目立つ結果となった。

3. 宗教的行動

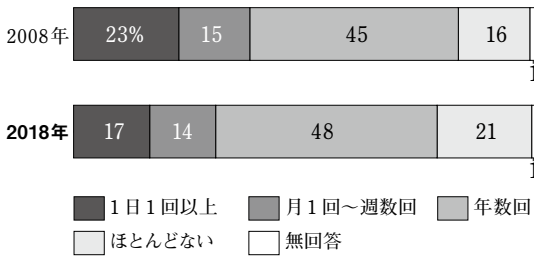
(1) 神仏を拝む頻度低下

ここからは、宗教的な行動についてみていく。「神仏を拝むことがどのくらいあるか」と尋ねたところ、『年数回(「年に1, 2回」+「年に数回程度」)』が48%と一番多かった(図5)⁶⁾。

08年との比較でみると、『1日1回以上(「1日に1回」+「1日に数回」)』は23%から17%に減少した一方、『ほとんどない(「したことがない」+「1年以上していない」)』が16%から21%に増加している。

なお、『1日1回以上』に関しては、2章で触れた「何らかの宗教を信仰している」と回答した人に限ってみても42% (08年) から32% (18年) と減少していた。「何らかの宗教を信仰してい

図5 神仏を拝む頻度(全体)

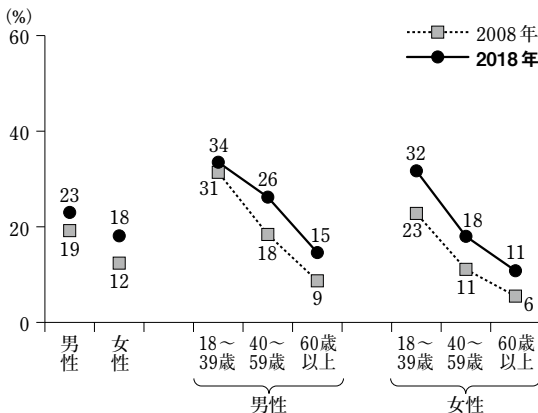


る」と答えた人でも信仰心が薄くなっているが、ここでは意識の低下とともに行動(拝む頻度)も少なくなっているということが確認された。

『ほとんどない』という人を男女年代別にみると、信仰心が「まったくない」の回答と同様に、年齢が低いほど多くなっている。また、全体として女性より男性のほうが多い傾向がある(図6)。08年との比較でみると、性別で「女性」、男女年代別で「女性40歳以上」で増加している。なおグラフにはないが、年代別でみた場合、18～29歳は08年も18年も4割近くの人が『ほとんどない』と答えている。

この調査の中には「困ったときに神仏に祈ったことがあるか」という質問もある。この問いに「ある」と答えた人も65%(98年)から59%(18

図6 神仏を拝む頻度『ほとんどない』
(男女・男女年代別)



年)に減っている。“苦しいときの神頼み”という言葉は、日本人の神仏に対する節操のなさを揶揄する意味で使われることが多いが、この結果は、困ったときでも神仏に頼る人が減りつつあるということを示していると言えよう。

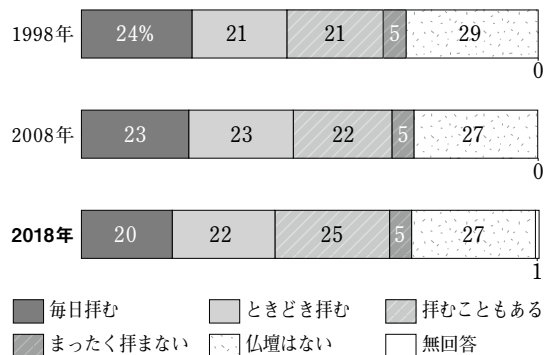
(2) 仏壇所有率変わらず 拝む頻度低下

仏壇を拝むことがあるかを尋ねたところ、「毎日拝む」が20%、「ときどき拝む」が22%などとなった。なお、「仏壇はない」は27%だった⁷⁾(図7)。

98年との比較でみると、「毎日拝む」が24%から20%に減る一方、「拝むこともある」が21%から25%に増えた。「仏壇はない」という人は変わらなかった。

時系列の結果で注目したいのは、仏壇の所有率に変化はないのに拝む頻度は少なくなっているということである。これは、これまでみてきた何らかの宗教を信仰している人の割合は変わらないながらも、神仏を拝む頻度は低下していることと構造的に似ていると言える。「宗教を信仰する人の割合」「仏壇の所有率」という入れ物の大きさは変わらないものの、そこに詰めるものは少なくなっているというイメージである。

図7 仏壇を拝む頻度(全体)



(3) コーホートでみる「拝む」という行為

ここでは、生まれた世代ごとのグループに着目した「コーホート分析」という方法を用いて、「神仏を拝む頻度」と「仏壇を拝む頻度」について考察する⁸⁾。

表1は、54ページで触れた「神仏を拝む頻度」の質問で、「1日1回以上」と回答した人を年代別にみたものである。

表1 神仏を拝む頻度「1日1回以上」
(年代別)

(%)	18～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
2008年	4	9	16	25	33	44
2018年	2	4	9	12	26	31

出生年代に着目すると、表のマス目を斜めにみる必要が出てくる。例えば、太丸で囲った08年の30代は9%で、10年後の18年に40代になったときも9%だった。ここで分かるのは、同じ年代に生まれたグループは、年齢が上がっても数字が変わらないということである。一方、マス目を縦にみると、例えば08年の30代は9%だが、18年の30代は4%となっている。これは出生年代(世代)が違えば拝む頻度も違うということである。これを一般的には、育った世代ごとに受けた影響によって意識や行動が異なるという意味で「世代効果」という。

一方、55ページで触れた「仏壇を拝む頻度」の質問で、「毎日拝む」と回答した人を年代別に表したのが表2である。

マス目を縦にみてまず確認できるのは「世代効果」である。しかしここで重要なのは、「神仏を拝む頻度」とは違って、同じ年代に生まれ

表2 仏壇を拝む頻度「毎日」
(年代別)

(%)	18～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
1998年	3	9	17	25	42	63
2008年	5	6	13	25	35	50
2018年	7	3	8	16	29	40

たグループでも年齢を重ねるにつれて、毎日拝む人が多くなる傾向があることである。

例えば98年に30代だった人は9%で、10年後の08年に40代になったときには13%、50代になったときには16%となっている。ほかの年代に生まれたグループをみても同じような動きとなっている。こうした数字の動きを一般的には、年齢が上がるほどに増減するという意味で「加齢効果」と呼んでいる。

この2つの調査結果を大まかに言えば、▶「神仏を拝む頻度」は「世代効果」、▶「仏壇を拝む頻度」は「世代効果」+「加齢効果」、と捉えることができよう。

では、仏壇を拝む頻度に「加齢効果」がみられるのはなぜであろうか。これは、年齢を重ねるほど身近な人が亡くなる可能性が高まるということと関係があると思われる。20代より60代のほうが親などの身近な人を亡くす人が増え、仏壇と位牌を置くようになり、拝む頻度が増えるということではないだろうか。

調査結果のコーホート分析からは、「仏壇を拝む」という行為には、「神仏を拝む」とは別の要素があることが読み取れる。

4. 伝統的な価値観

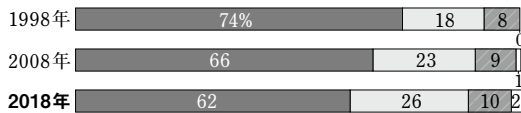
(1) “お天道様が見ている” 意識希薄に

続いて、宗教的な感覚も含めた日本人の伝統的な価値観について取り上げる⁹⁾。

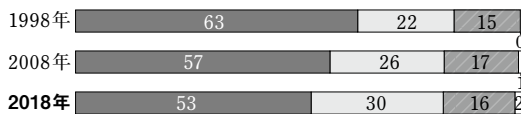
図8は、それぞれの質問に対して、18年の「そう思う」という人が多い順に上から並べたものである。「そう思う」が一番多いのは「①人には知られなくても、悪いことをすれば、いつか必ずむくいがあるものだ」(62%)、次いで「②

図8 宗教的感覚(全体)

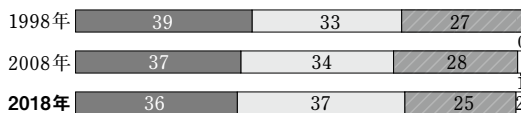
①人には知られなくても悪いことをすれば必ずむくいがある



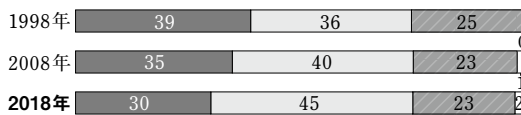
②自分の力ではどうすることもできない運命がある



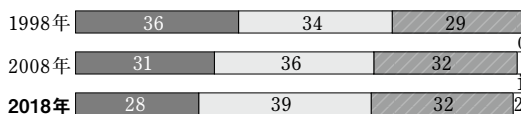
③神仏に願えばかなえてくれそうな気がする



④祖先の人達とは深い心のつながりを感じる



⑤神でも仏でも心のよりどころになるものが欲しい



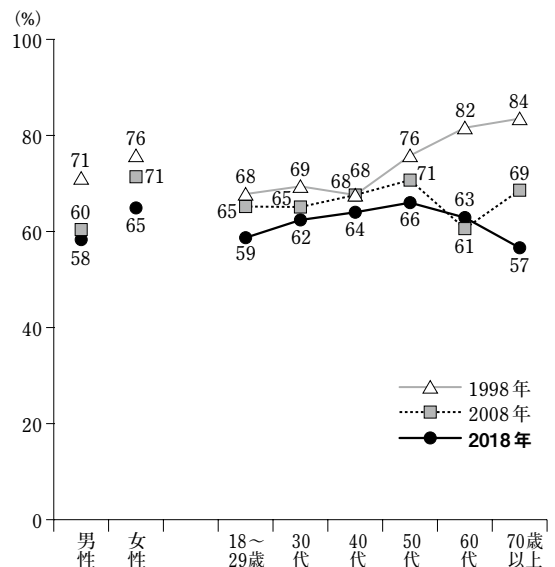
■ そう思う □ どちらともいえない ▨ そうは思わない □ 無回答
※『そう思う』多い順

人間には、自分の力ではどうすることもできない運命というものがある」(53%)となっている。

98年との比較でみると、「そう思う」が5つのうち4つで減少している(有意差がないのは③のみ)。特に「①人には知られなくても、悪いことをすれば、いつか必ずむくいがあるものだ」の減少幅は74%から62%と大きい。また、「②人間には、自分の力ではどうすることもできない運命というものがある」という、いわば“人知を超えた力の存在”を信じる人も63%から53%と減っている。なお、「そうは思わない」はすべてで変化はないが、「どちらともいえない」はすべてで増えている。

減少幅の大きかった「①人には知られなくても、悪いことをすれば、いつか必ずむくいがあるものだ」の「そう思う」を年代別にみてみた(図9)。98年と18年の比較でみると、50代以上で減少していて、特に70歳以上で84%から57%と大きく減っている。

図9 悪いことをすれば必ずむくいがある「そう思う」(男女・年代別)



新聞の投書などで、財布を置き忘れても中身がそのまま交番などに届けられていたという話が時折取り上げられる。特に旅行中の外国人がこうした体験をすると、大きな驚きをもって日本人の行動を礼賛することがある。

拾った財布をそのまま届けるという行為の奥底には、法を守るという意識とともに、「人には知られなくても、悪いことをすれば、いつか必ずむくいがあるものだ」という思い、もっと簡単に言えば“お天道様が見ている”という意識もあるのではないだろうか。

これに関しては、現在でも約6割の人が「そう思う」と答えているが、減少率が大きいのでもう少し詳しくみていく。まず、大きく減少している60歳以上と信仰心の有無の関係をみてみた(表3)。

表3 悪いことをすれば必ずむくいがある「そう思う」(60歳以上「信仰心の有無別」)

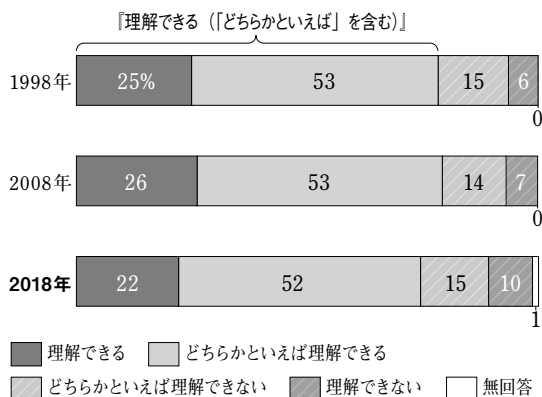
(%)	60歳以上	60歳以上「信仰心の有無別」		
		『ある』	『どちらともいえない』	『ない』
(1998年)	(354人)	(177人)	(52人)	(118人)
(2008年)	(420人)	(210人)	(66人)	(136人)
(2018年)	(607人)	(219人)	(101人)	(249人)
1998年	83	91	79	74
2008年	65	70	58	62
2018年	59	74	56	52
98-18年	24	17	23	22

※「どちらともいえない」は、サンプルサイズが少ないため参考値

『ある』という人の減少率がやや少なくなっているものの、「信仰心の有無」でそれほど大きな違いがあるとは言いきれない。

このほかにも、さまざまな角度から分析を試みたが、「悪いことをすれば必ずむくいがある」と考える人の減少のヒントをつかむまでには至らなかった。

図10 「山や川に宿る神」理解できるか(全体)



(2) “自然に宿る神”意識も減少

日本人には“自然に宿る神”“八百万の神”^{やおよろず}といった意識があると言われている。そこで、「昔の人は、山や川、井戸やカマドにいたるまで、多くのものに神の存在を感じたり、神をまつたりしてきたが、こうした気持ちが理解できるか」と尋ねた。その結果、『理解できる(「どちらかといえば」を含む)』という人が74%と大部分を占めた(図10)。

“自然に宿る神”という意識を多くの人が理解しているというデータであるが、ここで着目したいのは時系列の結果である。『理解できる』は78%(98年)から74%(18年)と減少している。

“お天道様が見ている”“人知を超えた力の存在”“自然に宿る神”という意識が、一様に減少しているということはどう考えればいいのか。留意したいのは、69ページ第30問(単純集計結果)の「聖なるものや霊的なものには関心がある」という人が減少しているという結果である。上記3つの意識に共通しているのは「超自然的なものの存在」であり、その「存在」を信じる人が減っていることと、3つの減少が関係しているのかもしれない。

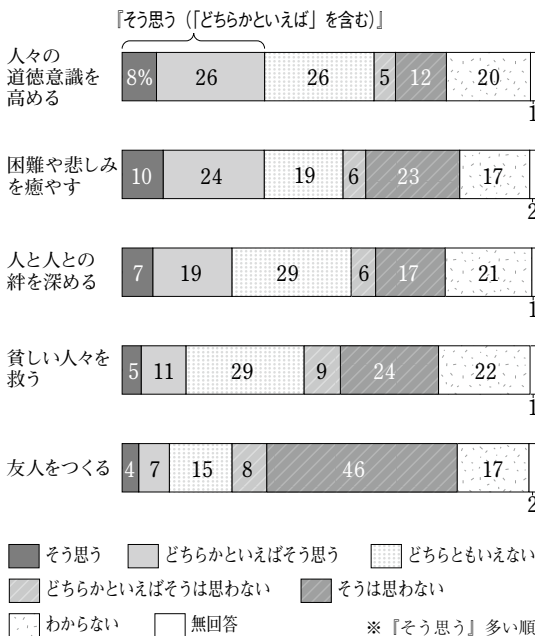
5. 宗教に求めるもの・宗教への疑い

(1) 「癒やし」「友人をつくる」 減少

これまで、宗教的な行動や思考についてみてきたが、ここでは人々が宗教にどんなことを求めているかということを取り上げる。

図11は、宗教の役割について『そう思う(「どちらかといえば」を含む)』という人が多い順に上から並べたものである。上位には「人々の道德意識を高める」(34%)と「困難や悲しみを癒やす」(34%)が並んでいる。ただし、「困難や悲しみを癒やす」には『そうは思わない(「どちらかといえば」を含む)』も多いことから、相対的には「人々の道德意識を高める」への期待が高いと言える。なお、「貧しい人々を救う」と「友人をつくる」は、『そうは思わない』が『そう思う』を上回っており、特に「友人をつくる」は『そうは思わない』が半数を超えている。

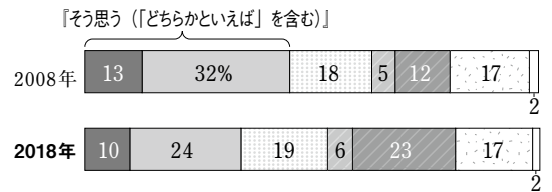
図11 宗教の役割 (全体)



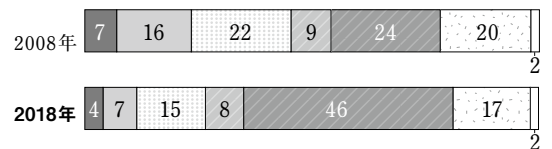
08年のデータがある「困難や悲しみを癒やす」と「友人をつくる」を18年との比較でみると、「困難や悲しみを癒やす」の『そう思う』が45%から34%へ、「友人をつくる」の『そう思う』が23%から11%へといずれも減少している(図12)。本調査の他の結果をみても、10年間で10ポイント以上減っているケースは珍しく、少なくともこの2つの役割を求める人は大幅に減っていると言える。

図12 宗教の役割 (全体)

困難や悲しみを癒やす



友人をつくる



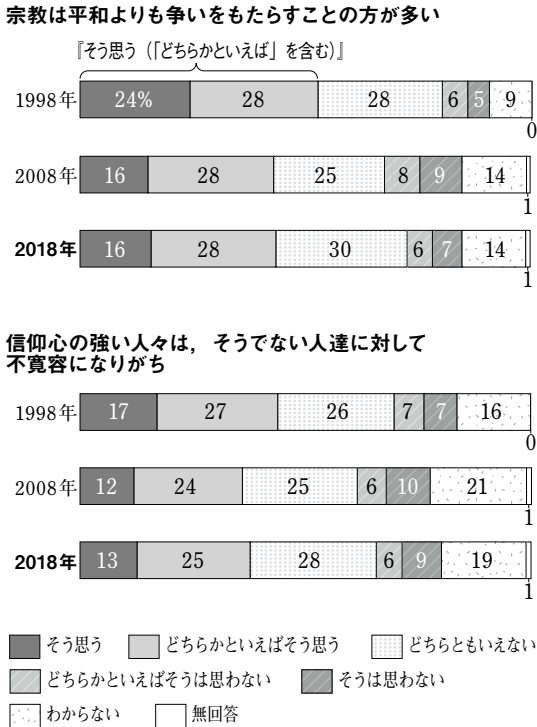
■ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらともいえない
 ■ どちらかといえばそうは思わない ■ そうは思わない
 □ わからない □ 無回答

(2) 宗教に危険性を感じる人多い

世界史を振り返ってみても、宗教に関する争いを思い浮かべることは不幸にして難しくはない。いわゆる「宗教戦争」と言われるすべてのケースが信仰上の対立が原因だとは言いきれないが¹⁰⁾、少なくとも宗教が火種となった争いが、過去、そして現在でも存在することは否定できない。

そこで本調査では、宗教に危険性を感じるかどうかについても質問している(図13)。

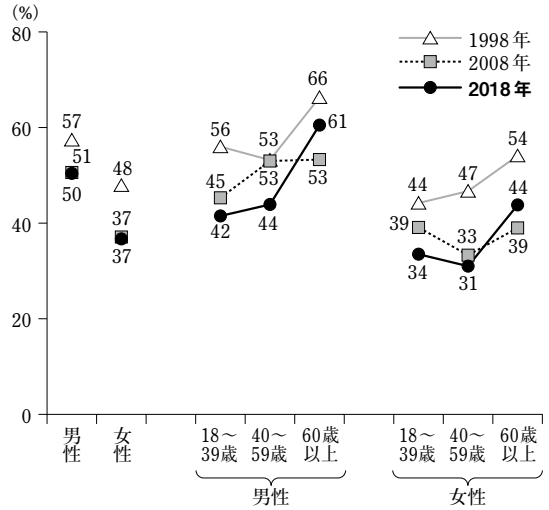
図 13 宗教に危険性感じるか (全体)



「宗教は平和よりも争いをもたらすことの方が多い」で『そう思う (「どちらかといえば」を含む)』という人は43%、「信仰心の強い人々は、そうでない人達に対して不寛容になりがち」で『そう思う』は38%となり、いずれも『そうは思わない (「どちらかといえば」を含む)』を大幅に上回った。

過去の結果をみると、98年の『そう思う』が両方ともほかの年より多い。これは、95年3月に地下鉄サリン事件が起こり、オウム真理教による一連の事件が明らかになった影響があると思われる。宗教問題も含めて継続的に世論調査を実施している「日本人の意識」調査では、98年に「宗教離れ」が進んでいる傾向がみられたが、この解釈でもオウム真理教の影響が指摘されている¹¹⁾。地下鉄サリン事件のあ

図 14 平和より争いをもたらす『そう思う』
(男女・男女年代別)



と、裁判で教団による凶悪な事件が次々と明らかになり、すぐに人々の記憶から消えるような状況ではなかった。98年に「宗教の危うさ」を感じる人が多いのは、このことも影響していると考えるのが自然であろう。

男女年代別に「平和より争いをもたらす」の『そう思う』と答えた人の18年の結果をみると、まず男女差が大きいことが分かる (図14)。男性50%に対して女性37%と、男性のほうが「争いをもたらす」と考えている人が多い。また、図表は割愛したが、「信仰心の強い人は不寛容」の『そう思う』でも、男性41%、女性35%となっていて、「平和より争いをもたらす」より差は小さいながらも (有意差はあり) 同じような傾向となっている。「宗教の危険性」については、男女で差があることが特徴と言えよう。

6. 宗教別の関心

イスラム教徒への否定感

最後に、各宗教について人々がどんな印象を

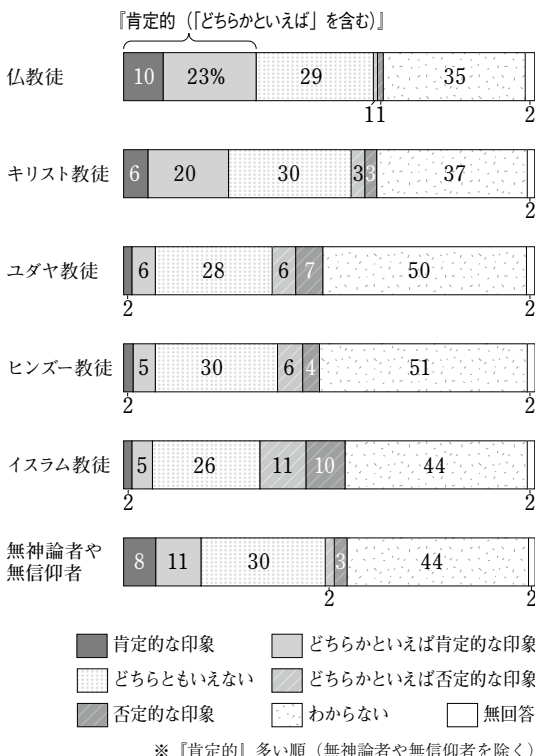
持っているのかをみていく。

図15は、各宗教徒に対する肯定感・否定感について尋ねた結果である。『肯定的（「どちらかといえば」を含む）』の比較的高い「仏教徒」（32%）・「キリスト教徒」（26%）と、比較的低い「ユダヤ教徒」（8%）・「ヒンズー教徒」（8%）・「イスラム教徒」（7%）に分かれた。「ユダヤ教徒」「ヒンズー教徒」「イスラム教徒」の『肯定的』については、「無信仰者」への『肯定的』（19%）より少なくなっている。

「イスラム教徒」については、『否定的（「どちらかといえば」を含む）』（21%）がほかの宗教徒に比べて多くなっている。なお、どの宗教徒についても「どちらともいえない」「わからない」が多いのも特徴である。

他の宗教徒より多かった「イスラム教徒」の

図15 宗教徒別の印象（全体）



『否定的』に着目して男女年代別にみると、男女で違いがあった（図16）。『否定的』は女性（17%）より男性（25%）で多く、男性は年齢が上がるほど高くなるのに対して、女性は年齢が上がるほど低くなる傾向がある。

イスラム教徒に対する回答と別の質問に対する回答の関係性をみると、表4のようなことが浮かび上がった。

図16 イスラム教徒『否定的』（男女・男女年代別）

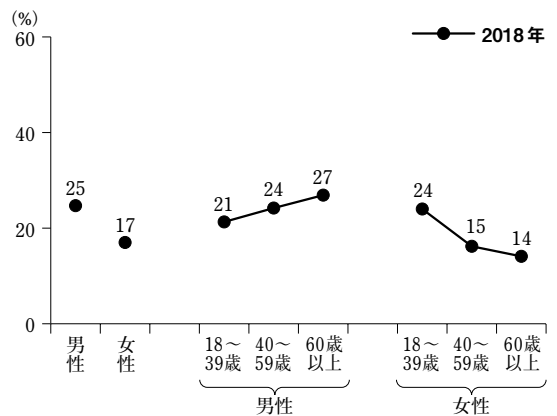


表4 イスラム教徒の印象（宗教に危険性感じるか別）

イスラム教徒の印象	全体 (%) (1,466人)	宗教は平和より争いをもたらす		
		『そう思う』 (635人)	『どちらともいえない』 (433人)	『そうは思わない』 (177人)
『肯定的』	7	6	8	16
『どちらともいえない』	26	25	32	32
『否定的』	21	31	17	10
『わからない』・無回答	46	38	43	42

イスラム教徒の印象	全体 (%) (1,466人)	宗教心の強い人は不寛容		
		『そう思う』 (556人)	『どちらともいえない』 (409人)	『そうは思わない』 (211人)
『肯定的』	7	8	7	10
『どちらともいえない』	26	27	33	30
『否定的』	21	31	16	19
『わからない』・無回答	46	34	45	40

イスラム教徒の印象を、5章の(2)で取り上げた「宗教は平和より争いをもたらす」の回答別にみると、『そう思う』でイスラム教に対して『否定的』と答えた人の割合が多くなっている。「宗教心の強い人は不寛容」の『そう思う』でも同様の傾向がある。宗教に危うさを感じることで、イスラム教徒を否定的に捉えることとの関係性を示唆する結果であると言える。

7. まとめ

以上、日本人の宗教に関する意思や行動の変化についてみてきた。これまでの本リポートの内容を簡単にまとめると次のようになる。

- ①信仰している宗教の割合は変わらないものの、信仰心は薄くなり、神仏を拝む頻度は低くなっている。
- ②日本人の伝統的な価値観だと捉えられてきた“お天道様が見ている”“人知を超えた力の存在”“自然に宿る神”といった感覚を持つ人は少なくなっている。
- ③宗教に「癒やし」などの役割を期待する人は減少している。宗教に危険性を感じる人は、感じない人よりも多い。
- ④宗教徒別では、「イスラム教徒」への否定感がほかの宗教徒に比べて高い。

これらを最大公約数的に言い表すとすれば、「宗教の形骸化・希薄化が進んでいる」、もしくは「宗教離れが進んでいる」となるかもしれない。ただし、宗教への関わりの深さは心の問題であって、たとえ拝む頻度が少なくなったとしても、必ずしも信仰心が薄くなったと言えるわけではない。

このように、宗教について論じることは非常に難しい。こうしたことに十分に留意しながら

も、本リポートでは最後に、2019年4月から新たに始まる外国人労働者の受け入れと日本人の宗教観について触れたい。

外国人材の受け入れを拡充するため、改正出入国管理法が2019年4月から施行された。政府によると、新たな在留資格で今後5年間に最大34万5,000人余りの受け入れが見込まれているという。少子高齢化が進む日本の現状を考えると、将来的に受け入れ人数がさらに増えることも予想される。

この影響については宗教学者の間でも注目されていて、例えばイスラム教に詳しい東京大学の池内^{さとし}恵教授は、日本人には各人の思いのままに信じるものを選べばいいという考えがあるが、イスラム教などの一神教にはそもそも信仰について人間が選択できるような余地はないとして、この違いが日本に来る外国人との何らかの摩擦に発展しないかと危惧している¹²⁾。

日本ではこれまで、宗教について深く考えたことのなかった人も多いただろう。しかし、異なる宗教観を持った人たちが、今後、隣人となる機会が多くなったらどうなるだろうか。

外国人との付き合いが増える中で、少なくとも今まで以上に宗教について考えなければならぬケースが出てくると思われる。そんなとき、本リポートが日本人の宗教観を示す基本的なデータとして多少なりとも役立つかもしれない。

(こばやし としゆき)

注：

- 1) ISSPの詳細については以下のサイトを参照のこと。<http://w.issp.org/about-issp/>
- 2) 本文中の質問文や選択肢は省略している場合があるので、全文を確認したい場合は単純集計結果を参照のこと。
- 3) 宗教に関する意識・行動は男女で違うことが多いため、紙幅の都合もあり、年齢での違いをみるグラフは「男女年代別（20歳刻み）」を基本としている。必要に応じて「年代別（10歳刻み）」のグラフも使用している。
- 4) 選択肢を囲う『 』は複数の選択肢を合算している場合、「 」は単独の場合を示している。なお、『 』の％は選択肢を単純に足し上げたものではなく、各選択肢の実数を足し上げて再計算したものである。
- 5) 『ない』人の中では、14%（08年）から11%（18年）〈有意差なし〉であった。
- 6) 図5は実際の選択肢をある程度まとめて表示している。詳しくは単純集計結果を参照のこと。
- 7) この調査の対象は個人であり、世帯単位の数字ではないことに注意。「仏壇」は日本の独自質問。
- 8) コーホート分析を厳密に実施する際には、「ベイズ型」という方法が開発されているが、本レポートは一次報告であり、調査結果の概要や傾向を示すことが主眼なので、そこまで踏み込まない。
- 9) 4章の質問は、すべて日本の独自質問である。
- 10) 例えば、商業的な目的もあってコンスタンティノープルを攻撃したと言われている第4回十字軍など。
- 11) NHK放送文化研究所編『現代日本人の意識構造 [第八版]』（NHK出版、2015年）
- 12) 池内恵「日本の「こころ教」とイスラームの「神の法」」『中央公論 平成31年1月号』（中央公論新社、2018年）

宗教に関する意識調査（ISSP 国際比較調査の日本分）単純集計結果

調査の概要

	1998年	2008年	2018年
調査目的	自分の生活の中での宗教の位置づけや、宗教が社会に与える影響などについて、人々がどのような考えを持っているのかを把握する		
調査方法	配付回収法		
調査時期	1998年11月12日(木)～18日(水)	2008年11月22日(土)～30日(日)	2018年10月27日(土)～11月4日(日)
調査対象	全国16歳以上	全国16歳以上	全国18歳以上
調査相手	住民基本台帳から層化無作為2段抽出		
	1,800人(12人×150地点)	1,800人(12人×150地点)	2,400人(12人×200地点)
調査有効数(率)	1,368人(76.0%)	1,200人(66.7%)	1,466人(61.1%)

※ 2018年の調査に合わせるために、1998年、2008年とも18歳以上で再集計している。

18歳以上の有効数は、1998年1,328人、2008年1,177人となる。

※ 調査相手抽出手順の詳細はNHK放送文化研究所のHP (<http://www.nhk.or.jp/bunken/yonon/nhk/process/sampling.html>) を参照のこと。

※ 調査問の<>は、開いているほうが統計的に有意に高いことを示す。2018年の右または下にある<>は、1998年と2018年の比較で、

例えば[2018年36.8 >] ならば2018年が有意に低いことを示す(信頼度95%)。

※ 第36問～第44問、第46問は、日本の独自質問。

※ 通常、属性質問(学歴・年収など)の結果は掲載しないが、今回は宗教に関する属性第22問と属性第23問の結果を掲載している。

一幸福感一

第1問 あなたの今の生活は、全体として幸せだと思いますか。それとも幸せではないと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(%) 1998年 2008年 2018年

1. とても幸せである	14.0	15.5	16.6
2. まあ幸せである	72.0	68.5	69.0
3. あまり幸せでない	9.7	10.5	9.6
4. まったく幸せでない	1.5	1.4	1.3
5. わからない	2.8	4.2	3.3
6. 無回答	0.0	0.1	0.2

一家族満足度一

第2問 あなたは、ご家族との関係について、全体としてどのくらい満足していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(%) 2018年

1. 非常に満足している	15.9
2. 満足している	43.6
3. やや満足している	22.1
4. どちらともいえない	9.8
5. やや不満である	3.6
6. 不満である	2.1
7. 非常に不満である	0.5
8. わからない	2.0
9. 無回答	0.3

一配偶者以外との性的交わり一

第3問 あなたは、「結婚している人が、配偶者以外の人と性的交わりを持つこと」を間違ったことだと思いますか。それとも間違ったことではないと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(%) 1998年 2008年 2018年

1. 絶対に間違っている	44.3	45.0	36.8 >
2. まあ間違いだと思う	41.7	41.8	43.7
3. あまり間違いだとは思わない	7.5	7.6	8.0
4. まったく間違っていない	1.3	0.8	1.7

5. わからない	5.2	4.4	9.1 <
6. 無回答	0.1	0.3	0.5

一同性どうしの性的交わり一

第4問 では、「男性どうし、女性どうしで性的交わりを持つこと」についてはどうですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(%) 1998年 2008年 2018年

1. 絶対に間違っている	35.7	27.4	13.2 >
2. まあ間違いだと思う	27.2	24.8	19.2 >
3. あまり間違いだとは思わない	15.7	23.4	34.2 <
4. まったく間違っていない	3.7	5.4	11.0 <
5. わからない	17.8	18.8	21.8 <
6. 無回答	0.0	0.3	0.5 <

一低収入の妊娠中絶の是非一

第5問 家庭の収入が非常に低く、子どもを育てる余裕がない女性が妊娠中絶することについて、あなたはどのように思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(%) 1998年 2008年 2018年

1. 絶対に間違っている	18.4	15.7	8.7 >
2. まあ間違いだと思う	27.2	25.6	22.9 >
3. あまり間違いだとは思わない	32.7	29.2	40.2 <
4. まったく間違っていない	8.1	9.7	8.7
5. わからない	13.6	17.4	18.6 <
6. 無回答	0.0	2.4	0.8 <

一夫婦の役割一

第6問 次のような考え方について、あなたはどのように思いますか。あなたのお気持ちに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

夫の仕事は収入を得ること、妻の仕事は家庭と家族の面倒をみることだ

(%) 1998年 2008年 2018年

1. そう思う	11.1	7.4	4.6 >
2. どちらかといえば、そう思う	24.5	24.0	16.7 >
3. どちらともいえない	26.7	25.5	28.0

- 4. どちらかといえば、
そうは思わない …… 11.6 12.6 14.3<
- 5. そうは思わない …… 24.4 < 28.9 < 33.1<
- 6. わからない …… 1.6 1.5 < 2.9<
- 7. 無回答 …… 0.0 0.2 0.5<

- 5. そうは思わない …… 2.3 1.7 2.5
- 6. わからない …… 9.8 < 12.5 > 9.9
- 7. 無回答 …… 0.0 < 0.6 0.4<

—組織への信頼度—

第7問 次のAからEにあげた組織や制度を、あなたはどのくらい信頼していますか。A～Eそれぞれについて、1つずつ○をつけてください。

	(%)	1. 非常に信頼している	2. かなり信頼している	3. まあまあ信頼している	4. あまり信頼していない	5. まったく信頼していない	6. わからない	7. 無回答
A. 国会	1998年	0.9	2.9	15.4	49.6	24.2	7.0	0.0
	2008年	0.6	3.1	20.6	48.7	18.4	8.1	0.7
	2018年	0.9	3.9	25.7	43.6	15.4	9.3	1.2
				△	▽	▽	△	△
B. 企業	1998年	0.8	5.6	32.6	43.6	6.9	10.5	0.0
	2008年	0.4	3.9	43.2	33.1	5.1	13.0	1.3
	2018年	0.6	5.3	47.8	29.1	3.9	11.9	1.3
				△	▽	▽	△	△
C. 寺、神社、教会などの宗教団体	1998年	1.2	3.2	20.0	42.1	23.4	10.1	0.0
	2008年	0.8	3.8	28.3	35.0	18.2	12.8	1.1
	2018年	1.4	3.7	29.2	33.4	15.9	15.1	1.2
				△	▽	▽	△	△
D. 裁判所や法律制度	1998年	5.9	20.8	44.9	16.9	3.7	7.8	0.0
	2008年	2.1	14.4	46.9	19.8	3.7	12.3	0.8
	2018年	2.9	13.2	50.0	17.7	3.8	11.3	1.2
				△	△		△	△
E. 学校や教育制度	1998年	1.7	11.4	42.9	30.6	5.9	7.5	0.0
	2008年	0.8	7.9	48.4	28.0	4.8	9.1	1.1
	2018年	1.3	8.3	52.2	24.5	4.3	8.4	1.0
				△	▽			△

—宗教指導者の選挙への影響—

第8問 次のような考え方について、あなたはどう思いますか。あなたのお気持ちに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

宗教団体の指導者は、選挙の投票に影響を与えようとすべきではない

- (%) 1998年 2008年 2018年
- 1. そう思う …… 65.2 > 56.4 > 45.8 >
 - 2. どちらかといえば、そう思う …… 13.6 < 18.3 < 26.9 <
 - 3. どちらともいえない …… 7.8 8.8 < 11.8 <
 - 4. どちらかといえば、
そうは思わない …… 1.4 1.7 2.7 <

—宗教の見方—

第9問 では、次のAからCのような考え方についてはどうですか。A～Cそれぞれについて、あなたのお気持ちに一番近い番号に1つずつ○をつけてください。

	(%)	1. そう思う	2. どちらかといえば	3. どちらともいえない	4. そうは思わない	5. そうは思わない	6. わからない	7. 無回答
A. 私たちは科学を信用しすぎていて、宗教への信仰が不足している	1998年	3.6	8.3	28.4	16.0	33.1	10.6	0.0
	2008年	2.3	7.8	24.0	17.1	33.5	14.3	1.0
	2018年	2.3	7.7	26.7	15.1	32.9	14.5	0.9
				▽			△	△
B. 世界中を見回してみると、宗教は平和よりも争いをもたらすことの方が多い	1998年	24.3	28.3	27.5	5.6	4.8	9.4	0.0
	2008年	15.5	27.8	24.5	7.8	9.3	14.3	0.8
	2018年	15.7	27.6	29.5	5.6	6.5	14.1	1.0
				▽			△	△
C. 信仰心の強い人々は、そうでない人達に対して不寛容になりがちである	1998年	17.4	26.7	25.7	6.6	7.3	16.3	0.0
	2008年	11.9	24.2	25.4	6.4	9.7	21.3	1.1
	2018年	12.6	25.4	27.9	5.7	8.7	18.7	1.1
				▽			△	△

—宗教団体の力—

第10問 宗教団体の日本国内での力は、強すぎますか。それとも弱すぎますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- (%) 1998年 2008年 2018年
- 1. 強すぎる …… 5.9 5.3 > 3.7 >
 - 2. どちらかといえば、強すぎる …… 26.0 > 20.8 22.3 >
 - 3. ちょうど良い …… 17.4 < 22.9 24.6 <
 - 4. どちらかといえば、弱すぎる …… 4.7 5.8 4.2
 - 5. 弱すぎる …… 1.4 0.7 1.0
 - 6. わからない …… 44.5 44.4 43.9
 - 7. 無回答 …… 0.0 0.2 0.3

—親戚と他宗教の人との結婚—

第11問 さまざまな宗教を信仰したり、宗教観を持ったりする人がいます。あなたは、信仰する宗教が違ったり、宗教に対する考え方が大きく違ったりする人が、あなたの親戚と結婚することを受け入れますか。あなたのお気持ちに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

- (%) 2008年 2018年
- 1. 当然受け入れる …… 7.5 > 5.0
 - 2. たぶん受け入れる …… 35.7 35.6
 - 3. たぶん受け入れない …… 22.4 24.9
 - 4. 絶対に受け入れない …… 7.5 > 5.0
 - 5. わからない …… 26.0 29.3

6. 無回答 0.9 > 0.3

一過激宗教活動の許容度一

第12問 多くの人たちから見ると、極端だとみなされる考え方を持つ人がいます。例えば、自分たちが信じる宗教が唯一正しいもので、他の宗教は自分たちと敵対するものだと信じている人々について考えてください。

あなたは、そのような人々が次のようなことをすることは許されると思いますか。A、Bそれぞれについて、1つずつ○をつけてください。

	(%)	1. 当然許される	2. たぶん許される	3. たぶん許されない	4. 絶対に許されない	5. わからない	6. 無回答
A. 自分たちの考えを表明するための集会を開く	2008年	12.8	36.6	17.5	6.4	25.9	0.8
	2018年	12.8	38.9	15.1	5.7	26.4	1.0
B. インターネットやソーシャルメディア [※] を使って、自分たちの考えを公表する	2018年	12.1	36.9	16.0	6.8	26.9	1.3

※ LINE, Twitter, Facebook, InstagramなどのSNSや、YouTubeなどの動画共有サイト

一神を信じるか一

第13問 あなたは、神について、日ごろどのようにお考えですか。あなたのお考えに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

	(%)	1998年	2008年	2018年
1. 神の存在を信じない	10.3	8.7	10.7	
2. 神が存在するかどうか わからないし、存在するか どうかを明らかにする 方法もないと思う	20.5	19.1	<25.4 <	
3. 神がいるとは思わないが、 何か超自然的な力は あると思う	24.1	23.0	>19.6 >	
4. 神の存在を信じる時もあるし、 信じない時もある	31.6	32.1	30.6	
5. 神の存在に疑問を感じることも あるが、神は存在すると 信じている	9.2	<12.0 <	9.1	
6. 私は、実際に神が存在することを 知っており、神の存在に 何の疑いも持っていない	3.9	4.3	3.3	
7. 無回答	0.4	0.8	1.3 <	

一神を信じるか（以前との比較）一

第14問 では、今と以前とではどうでしょうか。あなたのお考えに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

	(%)	1998年	2008年	2018年
1. 今も以前も神を 信じていたことはない	28.6	27.3	30.3	
2. 今は神を信じていないが、 以前は信じていたことがある	7.0	6.4	6.2	

3. 今は神を信じているが、 以前は信じていなかった	6.0	5.4	4.0 >
4. 今も以前も神を信じている	20.7	<25.0 >	19.8
5. わからない	37.6	35.3	<39.2 <
6. 無回答	0.1	<0.8 <	0.6 <

一信じるもの一

第15問 次のAからEにあげたことがらはあると思いますか、それともないと思いますか。A～Eそれぞれについて、あなたのお気持ちに一番近い番号に1つずつ○をつけてください。

	(%)	1. 絶対にある	2. たぶんあると思う	3. たぶんないと思う	4. 決してない	5. わからない	6. 無回答
A. 死後の世界	1998年	6.7	30.0	23.3	11.7	28.2	0.0
	2008年	8.2	35.2	21.8	8.8	25.1	1.0
	2018年	5.3	32.1	25.7	8.4	27.6	0.9
B. 天国	1998年	4.9	25.5	26.4	13.0	30.2	0.0
	2008年	5.4	29.8	27.5	9.2	26.8	1.3
	2018年	4.6	27.1	27.6	9.5	29.9	1.2
C. 地獄	1998年	4.1	20.9	29.4	14.7	30.9	0.0
	2008年	4.9	25.2	30.3	10.4	28.1	1.0
	2018年	3.9	22.2	31.0	10.4	31.2	1.2
D. 宗教的奇跡	1998年	4.7	14.3	28.1	21.3	31.6	0.0
	2008年	2.7	14.7	33.1	18.0	30.2	1.4
	2018年	2.5	12.2	33.2	18.3	32.5	1.4
E. 祖先の霊的な力	2008年	8.4	37.8	20.5	7.4	25.1	0.8
	2018年	5.6	33.6	22.8	9.3	27.6	1.2

一神と人生一

第16問 次のAからFのような考えについて、あなたはどのように思いますか。A～Fそれぞれについて、あなたのお気持ちに一番近い番号に1つずつ○をつけてください。

	(%)	1. 1. そう思う	2. 2. どちらかかといえ	3. 3. いえない	4. 4. どちらかかといえ	5. 5. そうは思わない	6. 6. わからない	7. 7. 無回答
A. すべての人に神は存在している	1998年	10.0	11.0	24.6	8.7	23.3	22.3	0.1
	2008年	9.3	14.9	20.6	8.6	19.2	26.4	1.0
	2018年	4.9	11.3	24.1	10.6	20.0	27.8	1.3
B. 人が自分自身の運命を変えることは不可能である	1998年	9.9	9.6	19.1	20.6	31.4	9.1	0.2
	2008年	6.6	6.5	17.8	18.7	36.6	12.9	0.9
	2018年	4.8	5.7	18.3	19.9	35.8	14.0	1.4
C. 神が存在するからこそ、私の人生には意味がある	1998年	3.8	5.1	17.5	12.3	43.4	17.8	0.2
	2008年	3.6	5.4	17.2	11.1	41.6	19.7	1.3
	2018年	2.0	4.5	14.8	12.3	44.4	20.5	1.4
D. 人生には何の目的もないと思う	1998年	1.3	1.2	7.9	16.3	66.0	7.1	0.2
	2008年	2.2	2.5	6.9	12.6	64.9	9.1	1.9
	2018年	1.7	2.1	9.8	15.8	57.6	11.3	1.7
E. 自分自身で意味を見つけたからこそ、人生は意味のあるものになる	1998年	49.7	29.6	7.8	1.9	3.8	7.2	0.2
	2008年	39.8	33.9	7.6	2.9	4.3	10.5	0.9
	2018年	28.2	36.4	12.4	3.2	4.4	13.8	1.6
F. 神社や教会、礼拝などに頼らなくても、神とつながる私なりの方法がある	2008年	10.5	10.2	15.0	5.2	20.1	37.7	1.4
	2018年	5.7	9.6	15.6	4.9	22.4	40.2	1.6

一自分の宗教は男女平等か一

第17問 あなたが信仰している宗教は、男女を平等に扱っていると思いますか。それとも、女性より男性を、あるいは男性より女性を優遇していると思いますか。あなたのお考えに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

(%)	2018年
1. 信仰している宗教はない	56.8
2. 私が信仰している宗教は、男女を平等に扱っている	18.8
3. 私が信仰している宗教は、女性よりも男性を優遇している	1.2
4. 私が信仰している宗教は、男性よりも女性を優遇している	0.1
5. わからない	22.2
6. 無回答	1.0

一母親が信仰していた宗教一

第18問 あなたが子どもの頃、あなたのお母さんは、何か宗教を信仰していましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(%)	2018年
1. 仏教	38.1
2. 神道	2.4
3. キリスト教	1.0
4. その他の宗教	3.6
5. 信仰している宗教はなかった	35.4
6. お母さんはいなかった	1.1
7. わからない	18.0
8. 無回答	0.3

一父親が信仰していた宗教一

第19問 あなたが子どもの頃、あなたのお父さんは、何か宗教を信仰していましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(%)	2018年
1. 仏教	35.8
2. 神道	2.5
3. キリスト教	0.9
4. その他の宗教	2.3
5. 信仰している宗教はなかった	37.3
6. お父さんはいなかった	2.3
7. わからない	18.7
8. 無回答	0.3

一自分が信仰していた宗教一

第20問 あなたが子どもの頃、あなた自身は、何か宗教を信仰していましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(%)	2018年
1. 仏教	20.2
2. 神道	1.2
3. キリスト教	1.8
4. その他の宗教	2.0
5. 信仰している宗教はなかった	59.3
6. わからない	15.1
7. 無回答	0.3

一母親の参拝頻度一

第21問 あなたが子どもの頃、お母さんは神社、寺、教会などの参拝や礼拝にどの程度行きましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。ただし、初もうでや冠婚葬祭を除いてお答えください。

(%)	1998年	2008年	2018年
1. まったく行かない	18.6	16.3	<21.7<
2. 年に1回も行かない	3.6	4.7	< 6.5<
3. 年に1, 2回	26.4	28.7	26.0
4. 年に数回程度	20.4	22.4	>17.6
5. 月に1回	4.7	4.8	3.5
6. 月に2, 3回	2.9	2.3	2.1
7. ほとんど毎週	0.8	0.5	0.6
8. 毎週	0.5	0.9	> 0.3
9. 週に数回	0.7	0.6	0.4
10. お母さんはいなかった	1.5	1.3	1.0
11. わからない、覚えていない	19.8	16.7	19.6
12. 無回答	0.2	0.8	0.6

—父親の参拝頻度—

第22問 あなたが子どもの頃、お父さんは神社、寺、教会などの参拝や礼拝にどの程度行きましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。ただし、初もうでや冠婚葬祭を除いてお答えください。

	(%) 1998年	2008年	2018年
1. まったく行かない	19.9	18.4	<25.5<
2. 年に1回も行かない	4.1	5.4	6.5<
3. 年に1, 2回	26.1	27.6	24.8
4. 年に数回程度	18.0	19.0	>15.2>
5. 月に1回	3.3	4.4	> 1.9>
6. 月に2, 3回	1.8	1.2	1.2
7. ほとんど毎週	0.8	0.3	0.3
8. 毎週	0.1	0.4	0.4
9. 週に数回	0.6	0.4	0.2
10. お父さんはいなかった	3.8	2.8	2.5>
11. わからない, 覚えていない	21.5	19.1	20.7
12. 無回答	0.1	< 0.8	0.8<

—小学高学年時の参拝頻度—

第23問 11~12歳(小学5~6年生)の頃、あなたは神社、寺、教会などの参拝や礼拝にどの程度行きましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。ただし、初もうでや冠婚葬祭を除いてお答えください。

	(%) 1998年	2008年	2018年
1. まったく行かない	27.6	>23.0	<32.2<
2. 年に1回も行かない	5.0	6.0	< 8.9<
3. 年に1, 2回	29.6	<34.3	>27.8
4. 年に数回程度	17.2	15.5	>12.6>
5. 月に1回	3.0	3.0	> 1.7>
6. 月に2, 3回	1.4	1.4	1.1
7. ほとんど毎週	0.6	0.7	0.5
8. 毎週	0.3	< 1.0	0.5
9. 週に数回	0.6	0.3	0.2
10. わからない, 覚えていない	14.5	13.8	14.1
11. 無回答	0.1	< 0.9	0.4

—参拝頻度—

第24問 現在のことについてお聞きします。あなたは、神様や仏様を拝んだり、祈ったりすることがどのくらいありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	(%) 2008年	2018年
1. したことがない	10.1	<13.6
2. 1年以上していない	5.4	6.8
3. 年に1, 2回	22.7	24.8
4. 年に数回程度	22.5	23.3
5. 月に1回	4.5	3.9
6. 月に2, 3回	3.9	4.6
7. ほとんど毎週	1.4	1.3
8. 毎週	0.7	0.7
9. 週に数回	4.9	3.8
10. 1日に1回	18.4	>12.9
11. 1日に数回	4.4	3.6
12. 無回答	1.1	0.7

—参拝以外の宗教活動頻度—

第25問 それでは、参拝や礼拝以外に、寺、神社、教会などの行事や活動に参加することがどのくらいありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	(%) 2008年	2018年
1. したことがない	51.7	<60.0
2. 1年以上していない	12.1	13.5
3. 年に1, 2回	18.9	>14.9
4. 年に数回程度	11.2	> 7.8
5. 月に1回	2.0	1.5
6. 月に2, 3回	1.1	1.0
7. ほとんど毎週	0.3	0.3
8. 毎週	0.1	0.1
9. 週に数回	0.7	> 0.2
10. 無回答	2.0	> 0.7

—参拝以外で教典を読んだ経験—

第26問 あなたはこの1年の間に、参拝や礼拝以外の機会に、キリスト教の聖書、仏教の経典、イスラム教のコーラン、ヒンズー教のシュルティ、ユダヤ教のトーラーやそのほかの教典を読んだり聞いたりしたことがありますか。

	(%) 2018年
1. ある	10.4
2. ない	89.1
3. 無回答	0.5

—自宅に仏壇などあるか—

第27問 あなたは、宗教的な理由から、仏壇や神棚、十字架やキリストの像などを家に置いていますか。

	(%) 2008年	2018年
1. 置いている	51.4	>39.7
2. 置いていない	47.8	<59.8
3. 無回答	0.8	0.5

—参拝以外の宗教施設訪問回数—

第28問 あなたは、日常的な参拝や礼拝とは別に、宗教的な目的で、巡礼に行ったり、お寺や教会などを訪れたりすることがどのくらいありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	(%) 2008年	2018年
1. したことがない	64.8	<71.9
2. 1年以上していない	10.8	10.8
3. 年に1, 2回	13.7	>10.3
4. 年に数回程度	7.2	> 4.4
5. 月に1回またはそれ以上	3.1	> 1.9
6. 無回答	0.3	0.6

—信仰心—

第29問 あなた自身には信仰心や信心がありますか。それともありませんか。最も近い番号に1つだけ○をつけてください。

	(%) 1998年	2008年	2018年
1. とてもある	4.0	2.9	2.9
2. かなりある	5.5	5.4	> 3.8>
3. まあある	22.1	24.9	>19.6
4. どちらともいえない	15.0	17.2	14.5
5. あまりない	19.4	>14.9	13.4>
6. ほとんどない	16.6	14.0	15.8
7. まったくない	14.3	16.1	<22.3<

- 8. わからない 3.2 4.5 < 7.3 <
- 9. 無回答 0.0 < 0.3 0.3

—信仰とスピリチュアル—

第30問 次の文章のうち、あなたご自身に、最もあてはまるのはどれでしょうか。最も近い番号に1つだけ○をつけてください。

(%) 2008年 2018年

- 1. 宗教を信仰し、聖なるものや 霊的なものに関心がある 8.8 > 5.9
- 2. 宗教を信仰するが、聖なるものや 霊的なものには関心はない 16.1 13.9
- 3. 宗教を信仰しないが、 聖なるものや霊的なものには 関心がある 25.6 22.5
- 4. 宗教は信仰しないし、 聖なるものや霊的なものにも 関心はない 26.6 < 31.2
- 5. わからない 22.6 < 25.9
- 6. 無回答 0.3 0.5

—宗教の役割①—

第31問 あなたは、次のA、Bのようなことに関して、宗教は役立つと思いますか。それとも、そうは思いませんか。A、Bそれぞれについて、あなたのお気持ちに一番近い番号に1つずつ○をつけてください。

	(%)	1. そう思う	2. どちらかといえば	3. どちらでもない	4. そうは思わない	5. そうは思わない	6. わからない	7. 無回答
A. 友人をつくる	2008年	7.0	16.4	21.9	8.8	24.2	19.9	1.9
	2018年	4.0	7.4	15.1	8.4	46.0	17.3	1.8
B. 困難や悲しみを癒やす	2008年	12.6	32.4	18.4	5.1	12.2	17.4	2.0
	2018年	9.9	24.4	19.0	5.5	22.7	16.9	1.6

—宗教は男女平等の障壁か—

第32問 次の考え方について、あなたはどのように思いますか。あなたのお気持ちに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

宗教は、男女の平等の妨げになることが多い (%) 2018年

- 1. そう思う 2.7
- 2. どちらかといえば、そう思う 6.8
- 3. どちらともいえない 22.7
- 4. どちらかといえば、そうは思わない 9.0
- 5. そうは思わない 24.7
- 6. わからない 33.3
- 7. 無回答 0.8

—政治・他宗教との関係—

第33問 次のA、Bのような考え方について、あなたはどのように思いますか。A、Bそれぞれについて、あなたのお気持ちに一番近い番号に1つずつ○をつけてください。

	(%)	1. そう思う	2. どちらかといえば	3. どちらともいえない	4. そうは思わない	5. そうは思わない	6. わからない	7. 無回答
A. 政府は、いかなる宗教の布教活動も妨げてはならない	2018年	11.3	16.8	21.1	8.9	16.2	24.3	1.3
B. 総合的に考えて、違う宗教を信じる人たちが近くに住んでいると、互いにならざるを得ない	2018年	4.8	11.7	24.1	11.7	20.0	26.5	1.3

—宗教は過去のものか—

第34問 次のA、Bのような考え方について、あなたはどのように思いますか。A、Bそれぞれについて、あなたのお気持ちに一番近い番号に1つずつ○をつけてください。

	(%)	1. そう思う	2. どちらかといえば	3. どちらともいえない	4. そうは思わない	5. そうは思わない	6. わからない	7. 無回答
A. 日本では宗教は、未来というよりは、過去の象徴である	2018年	5.9	16.4	19.2	5.8	14.3	37.2	1.2
B. 日本では宗教は、現在も、過去と同じくらい人々の生活にとって意味がある	2018年	5.0	12.9	21.2	10.8	12.9	36.2	1.0

—信者への肯定感—

第35問 あなたは、次のAからFにあげる人たちに対して、どのような印象を持っていますか。A～Fそれぞれについて、あなたのお気持ちに一番近い番号に1つずつ○をつけてください。

	(%)	1. 肯定的な印象	2. どちらかといえば	3. どちらともいえない	4. 否定的な印象	5. 否定的な印象	6. わからない	7. 無回答
A. キリスト教徒	2018年	5.9	19.6	29.8	3.3	2.9	36.6	1.8
B. イスラム教徒	2018年	2.0	5.0	26.1	11.2	9.5	44.3	1.8
C. ヒンズー教徒	2018年	2.3	5.4	29.7	6.1	4.1	50.5	1.9
D. 仏教徒	2018年	9.6	22.6	28.5	1.0	1.4	34.5	2.3
E. ユダヤ教徒	2018年	2.0	5.7	28.4	5.7	6.6	49.5	2.0
F. 無神論者や無信仰者	2018年	7.8	11.0	30.2	2.2	3.1	44.1	1.6

—神棚を拝むか—

第36問 あなたは、神棚に向かって拝むことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	(%) 1998年	2008年	2018年
1. 毎日拝む	12.7	11.5	> 8.3
2. ときどき拝む	13.9	13.8	12.6
3. 拝むこともある	25.5	25.1	25.2
4. まったく拝まない	12.0	10.2	10.8
5. 神棚はない	35.9	39.4	42.2 <
6. 無回答	0.2	0.1	< 1.0 <

—仏壇を拝むか—

第37問 では、仏壇に向かって拝むことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	(%) 1998年	2008年	2018年
1. 毎日拝む	24.1	23.4	> 19.8 >
2. ときどき拝む	20.7	22.8	22.4
3. 拝むこともある	21.3	21.5	< 25.2 <
4. まったく拝まない	5.0	4.8	4.8
5. 仏壇はない	28.8	27.4	27.0
6. 無回答	0.2	0.3	0.8 <

—宗教的感覚—

第38問 次のAからEの考え方について、どう思いますか。

A～Eそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	(%)	1. そう思う	2. そうわはない	3. どちらでもない	4. 無回答
A. 神や仏に願いごとをすると、何となくかなえてくれそうな気がする	1998年	39.4	26.9	33.4	0.3
	2008年	36.9	27.7	34.1	1.4
	2018年	36.1	24.8	37.4	1.7
B. 神でも仏でも、心のよりどころになるものが欲しい	1998年	36.4	29.1	34.3	0.2
	2008年	31.0	32.0	35.6	1.4
	2018年	27.5	31.7	38.5	2.3
C. 人には知られなくても、悪いことをすれば、いつか必ずむくいがあるものだ	1998年	73.5	8.0	18.2	0.3
	2008年	66.4	9.1	23.4	1.1
	2018年	61.7	9.6	26.4	2.3
D. 人間には、自分の力ではどうすることもできない運命というものがある	1998年	63.4	14.8	21.5	0.4
	2008年	56.8	16.6	25.5	1.1
	2018年	52.6	16.0	29.5	1.8
E. 祖先の人達とは、深い心のつながりを感じる	1998年	39.1	24.8	35.9	0.2
	2008年	35.0	23.2	40.4	1.4
	2018年	30.2	22.8	45.1	1.9

—精神修養の希望（座禅など）—

第39問 あなたは、座禅などのような、宗教的なものを通じて、心の落ちつきを得たいと思ったり、自分自身の成長や人生について考えてみたいと思ったりしたことがありますか。

	(%) 1998年	2008年	2018年
1. ある	35.1	35.5	> 31.2 >
2. ない	64.9	64.2	< 68.0
3. 無回答	0.0	0.3	0.8 <

—山や川に宿る神の理解—

第40問 昔の人は、山や川、井戸や「かまど」にいたるまで、多くのものに神の存在を感じたり、神をまつたりしてきましたが、あなたは、こうした気持ちが理解できますか。それとも、理解できませんか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	(%) 1998年	2008年	2018年
1. 理解できる	24.9	26.1	> 22.1
2. どちらかといえば、理解できる	53.3	53.1	52.3
3. どちらかといえば、理解できない	15.2	13.8	14.7
4. 理解できない	6.4	6.8	< 9.5 <
5. 無回答	0.2	0.3	< 1.3 <

—神仏に祈った経験—

第41問 あなたは、何か非常に困った問題にぶつかって、神や仏に祈ったことがありますか。

	(%) 1998年	2008年	2018年
1. ある	64.8	63.0	> 58.9 >
2. ない	35.2	36.5	40.2 <
3. 無回答	0.1	0.4	0.9 <

—親しみを感じる宗教【複数回答】—

第42問 今の日本にはさまざまな宗教がありますが、あなたが信仰している宗教も含めて、親しみを感じる宗教はどれですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	(%) 1998年	2008年	2018年
1. 仏教	49.2	< 65.8	> 61.7 <
2. 神道	14.8	< 20.6	20.9 <
3. キリスト教	11.3	12.4	11.7
4. イスラム教	0.3	0.4	0.5
5. その他の宗教（具体的に）	1.2	1.3	1.3
6. 親しみを感じる宗教はない	39.7	> 28.0	< 31.9 >
7. 無回答	0.3	0.8	1.2 <

—日常の宗教的行動—

第43問 あなたは、次のAからEのようなことをすることがあります。A～Eそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	(%)	1. よく する	2. した こと がある	3. し ない	4. 無 回 答
A. 初もうでに行く	1998年	56.1	37.5	6.3	0.2
	2008年	55.1	36.5	7.0	1.4
	2018年	53.9	35.7	9.3	1.1
B. お盆やお彼岸に墓参りをする	1998年	67.2	27.3	5.4	0.2
	2008年	66.1	28.2	4.4	1.3
	2018年	60.5	32.6	5.9	1.0
C. お守りやおふだをもらう	1998年	25.2	55.6	19.1	0.2
	2008年	25.7	54.5	18.2	1.6
	2018年	37.1	45.0	16.7	1.2
D. おみくじをひく	1998年	18.2	57.2	24.5	0.2
	2008年	21.0	55.3	22.0	1.7
	2018年	28.9	46.5	23.5	1.2
E. 占いをしてもらう	1998年	3.8	31.2	64.8	0.2
	2008年	4.1	29.4	64.7	1.9
	2018年	4.2	25.0	69.3	1.4

—宗教の役割②—

第44問 あなたは、次のAからCのようなことに関して、宗教は役立つと思いますか。それとも、そうは思いませんか。A～Cそれぞれについて、あなたのお気持ちに一番近い番号に1つずつ○をつけてください。

	(%)	1. そ う 思 う	2. ど ち ら か と い え ば	3. ど ち ら と も	4. ど ち ら は 思 わ な い ば	5. そ う は 思 わ な い	6. わ か ら な い	7. 無 回 答
A. 人と人との絆を深める	2018年	7.4	19.1	28.8	5.9	16.8	20.9	1.0
B. 人々の道徳意識を高める	2018年	8.3	26.1	26.4	5.2	12.3	20.3	1.4
C. 貧しい人々を救う	2018年	4.6	10.8	28.5	8.8	23.7	22.1	1.4

—健康状態—

第45問 話は変わりますが、あなたは、ご自分の心や体の健康状態についてどう感じていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	(%)	2018年
1. 最高によい	1.7	1.7
2. とてもよい	10.6	10.6
3. よい	20.5	20.5
4. 普通	50.5	50.5
5. よくない	13.8	13.8
6. わからない	2.7	2.7
7. 無回答	0.3	0.3

—家族の健康状態—

第46問 次に、あなたのご家族のことについておたずねします。あなたのご家族の中に、心や体の健康状態がよくない方はいらっしゃいますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	(%)	2018年
1. いない	66.9	66.9
2. いる	32.5	32.5
3. 無回答	0.6	0.6

—信仰している宗教—

属性第22問 あなたには、ふだん信仰している宗教がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。ただし、冠婚葬祭の時だけの宗教でなく、あくまで、あなたご自身が、ふだん信仰している宗教をお答えください。

	(%)	2008年	2018年
1. 仏教	33.1	31.4	31.4
2. 神道	3.1	2.5	2.5
3. キリスト教	0.7	1.2	1.2
4. その他の宗教（具体的に）	0.8	0.5	0.5
5. 信仰している宗教はない	61.0	62.3	62.3
6. 無回答	1.3	2.2	2.2

—参拝の頻度—

属性第23問 あなたは寺、神社、教会などの参拝や礼拝に、どの程度お出かけになっていますか。次の中から1つだけ○をつけてください。ただし、冠婚葬祭で行くのは除きます。

	(%)	2018年
1. まったく行かない	19.6	19.6
2. 年に1回も行かない	9.3	9.3
3. 年に1, 2回	40.5	40.5
4. 年に数回程度	19.0	19.0
5. 月に1回	2.8	2.8
6. 月に2, 3回	1.4	1.4
7. ほとんど毎週	0.4	0.4
8. 毎週	0.3	0.3
9. 週に数回	0.3	0.3
10. わからない、覚えていない	4.6	4.6
11. 無回答	1.7	1.7

サンプル構成

	全体	性		年層					
		男性	女性	18～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1998年	1,328人	658	670	227	206	281	260	196	158
	100.0%	49.5	50.5	17.1	15.5	21.2	19.6	14.8	11.9
2008年	1,177人	541	636	164	192	179	222	213	207
	100.0%	46.0	54.0	13.9	16.3	15.2	18.9	18.1	17.6
2018年	1,466人	709	757	150	181	278	250	259	348
	100.0%	48.4	51.6	10.2	12.3	19.0	17.1	17.7	23.7

	全体	男性						女性					
		18～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	18～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1998年	1,328人	106	103	137	143	98	71	121	103	144	117	98	87
	100.0%	8.0	7.8	10.3	10.8	7.4	5.3	9.1	7.8	10.8	8.8	7.4	6.6
2008年	1,177人	83	89	83	102	101	83	81	103	96	120	112	124
	100.0%	7.1	7.6	7.1	8.7	8.6	7.1	6.9	8.8	8.2	10.2	9.5	10.5
2018年	1,466人	74	90	124	120	138	163	76	91	154	130	121	185
	100.0%	5.0	6.1	8.5	8.2	9.4	11.1	5.2	6.2	10.5	8.9	8.3	12.6

	全体	都市規模				
		特別区と人口100万以上の市	人口30万以上の市	人口10万以上の市	人口5万以上の市町村	人口5万未満の市町村
2008年	1,177人	214	276	272	210	205
	100.0%	18.2	23.4	23.1	17.8	17.4
2018年	1,466人	275	291	382	227	291
	100.0%	18.8	19.8	26.1	15.5	19.8

※ 1998年のデータは、都市規模の定義が異なるため掲載していない